

豊岡市多文化共生推進プランの策定

～多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている～

「多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり」を進めるために、豊岡市多文化共生推進プランを策定した。

1 策定経緯

- (1) 市では、障がいの有無や性別、年齢差、国籍のちがひ、価値観・文化・習慣のちがひなどにかかわらず、多様な人々が地域社会で活躍する「多様性を受け入れ、支えあうリベラルなまちづくり」を進めている。
- (2) 本市の外国人市民(※1)は増加傾向にあり、外国人市民を貴重な人材、コミュニティの一員として受け入れて共生し、地域の活性化につなげていくため、多文化共生(※2)推進プランを策定した。

〈定義〉

※1「外国人市民」

国籍が日本であっても、外国にルーツを持ち、言葉、生活習慣や文化等が日本と異なる方々も包括している。

ただし、下記「2 外国人市民の状況」で用いる「外国人市民」は、国籍が日本以外の人を指している。

※2「多文化共生」

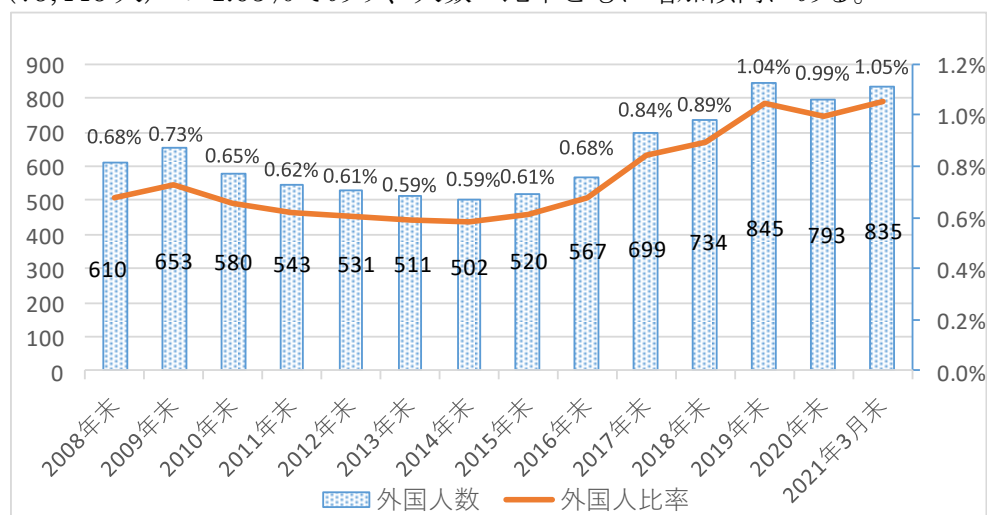
国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがひを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

～総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書（2006年3月）」から～

2 外国人市民(国籍が日本以外の人)の状況

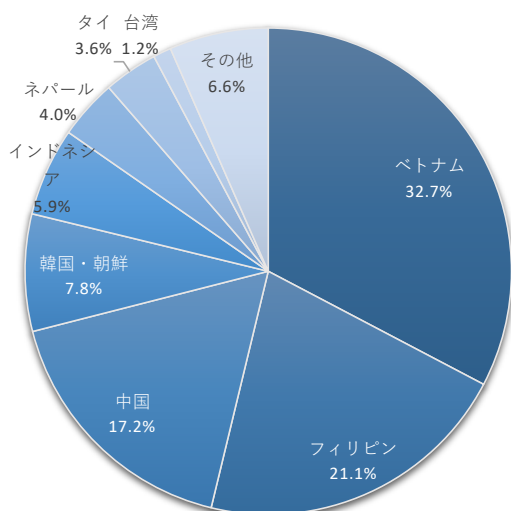
(1) 外国人市民数・比率

2021年3月末時点の外国人市民（住民基本台帳で外国籍の人）は835人で、市民全体（79,446人）の1.05%であり、人数・比率ともに増加傾向にある。



(2) 国籍・地域別

26の国と地域出身の方が市内に在住している。国籍・地域別にみるとベトナム(273人、32.7%)、フィリピン(176人、21.1%)、中国(144人、17.2%)の順が多い。



(住民基本台帳 2021年3月末)

国籍	2021年3月末人数
ベトナム	273
フィリピン	176
中国	144
韓国・朝鮮	65
インドネシア	49
ネパール	33
タイ	30
台湾	10
その他	55

3 計画概要

(1) 策定

2021年9月

(2) 計画期間

2021年度から2025年度までの5年間

(3) めざす姿

長期目標を「多様な人々が地域や職場の一員として活躍している」と定め、計画期間中に「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態をめざす。

(4) 取組み方針

ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できるような取組みを進める。

(5) 具体的な取組み（主な事業）

ア 外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている【コミュニケーション支援】

ワンストップ相談窓口の設置検討

市役所書類の多言語化（やさしい日本語含む）等

イ 外国人市民が安全・安心に暮らしている【生活支援】

災害時における外国人支援体制（災害時多言語支援センター等）の検討

乳幼児健診等での通訳等多言語対応 等

ウ 外国人市民が地域活動に参画している【意識啓発と地域づくり】

子育て支援総合拠点での交流事業開催

外国人市民が大学・地域等で講義する機会の創出 等

(6) 指標

指 標	基準値	目標値
外国籍市民の5年定住率	40.5% (2020年度)	45.0% (2025年度)
外国人市民の日本語教室への参加人数	152人 (2020年度)	250人 (2025年度)
外国語通訳ボランティアの人数	34人 (2021年度)	50人 (2025年度)
外国人市民が地域の行事に参加している行政区及び地域コミュニティの数	未計測 (2021年度)	基準値の2倍 (2025年度)

(7) プランの推進体制

関係機関やNPO法人等支援団体と連携し、協働して事業を進める。

また、関係課により構成する連絡会議を設置し、進捗状況の把握と事業推進を図る。

《参考》策定経過

年 月	内 容
2019年 4月～	外国人住民に関する調査研究（神戸大学との共同研究）
2020年 7月～2021年 7月	多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（6回開催）
2020年 12月～2021年 6月	多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググループ（4回開催）
2021年 5月～8月	学識経験者、関係機関等からの意見聴取
2021年 9月	パブリックコメント

[問合せ] 政策調整部 政策調整課 TEL(0796)21-9022